

教科	科目	単位数	種別	年次	
芸術	音楽Ⅰ	2	必修科目	1年	
使用教科書	MOUSA1(教育芸術社)			担当者	

学習目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。	
学習方法	・自己の表現意図や、鑑賞した音楽の良さについて、ワークシートやグループワーク等の言語化活動を通して、音楽的な見方・考え方に基づく思考力・判断力・表現力を養う。	
	・実技活動やワークシートの活用を通して、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受して表現したり鑑賞するための知識や技能を習得する。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
	以上の観点をふまえ、 授業の取り組みや実技テスト、小テスト、提出課題などを総合的に評価します。	
担当者から		

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	A 表現	1歌唱	発声のトレーニング									創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身につけている。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。	主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト、提出課題、小テストなどをもとに評価する。
5			校歌									・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身につけている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解している。			
6			外国語の歌曲									・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解している。 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身につけている。			
7			合唱									・様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解している。 ・他者との調和を意識して歌う技能を身につけている。 ・表現形態の特徴を生かして歌う技能を身につけている。			
8		2創作	読譜のトレーニング									・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。	・創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。	主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	
9			リズム創作									・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身につけている。			

10		3器楽	ボディパーカッション			○		○		○	・曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解している。 ・様々な表現形態による器楽表現の特徴を理解している。 ・にふさわしい奏法、身体の使用などの技能を身につけている。 ・他者との調和を意識して演奏する技能を身につけている。 ・表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身につけている。	・音楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。	主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	
11			リコーダーの基礎			○	○			○				
12			リコーダーの応用			○	○				○			
1	B 鑑賞	1鑑賞	歌劇			○		○			○	次の(ア)から(ウ)までについて理解している。 (ア) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり (イ) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり (ウ) 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 (ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ) 自分や社会にとっての音楽の意味や価値 (ウ) 音楽表現の共通性や固有性	主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
2														
3														

教科	科目	単位数	種別	年次	
芸術	音楽Ⅱ	2	選択科目	2年	
使用教科書	MOUSA2(教育芸術社)			担当者	

学習目標 学習方法	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。				
	・自己の表現意図や、鑑賞した音楽の良さについて、ワークシートやグループワーク等の言語化活動を通して、音楽的な見方・考え方に基づく思考力・判断力・表現力を養う。				
	・実技活動やワークシートの活用を通して、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じて個性豊かな表現や主体的な鑑賞活動を行うための知識や技能を習得する。				
学習評価	育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容		
	1	基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。		
	2	課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。		
	3	情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。		
	4	自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。		
	5	主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。		
	6	協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。		
	7	自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。		
	8	社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。		
		以上の観点をふまえ、 授業の取り組みや実技テスト、小テスト、提出課題などを総合的に評価します。			
担当者から					

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	A 表現	1歌唱	外国語の歌曲									次の(ア)から(ウ)までについて理解し、(エ)から(カ)までの技能を身につけている。 (ア) 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果 (イ) 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果 (ウ) 様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性 (エ) 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能 (オ) 他者との調和を意識して歌う技能 (カ) 表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。	主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト、提出課題、小テストなどをもとに評価する。
	B 鑑賞	1鑑賞	鑑賞									次の(ア)から(イ)について理解を深めている。 (ア) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり (イ) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 (ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ) 自分や社会にとつての音楽の意味や価値 (ウ) 音楽表現の共通性や固有性	主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
7	A 表現	2器楽	ギター									次の(ア)から(ウ)までについて理解している。 (ア) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果 (イ) 曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果 (ウ) 様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。	主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	
	8		ギター									・次の(エ)、(カ)の技能を身に付けている。 (エ) 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能 (カ) 表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能			

[illegible]

教科	科目	単位数	種別	年次	
芸術	演奏に親しむ	2	選択科目	3年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。	
学習方法	・器楽表現を中心とした活動を通して、音楽を愛好する心情や、音楽文化に対する理解を深める。	
	・実技活動、ワークシート、グループワーク等を通して、主体的かつ創造的な表現活動や鑑賞活動を行うために必要な技能・知識を習得する。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
	以上の観点をふまえ、 授業の取り組みや実技テスト、小テスト、提出課題などを総合的に評価します。	
担当者から	様々な楽器を演奏するため、最低限の楽譜を読む能力が必要です。日頃から楽譜を読む(音符や記号)練習をしましょう。楽譜が読めない人はついて行くことが大変になります。	

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法		
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	楽典	楽典	基本的な読譜の技能を習得する。		○	○	○					○	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。	・音楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。	主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト 小テスト 提出課題 などを元に評価する。	
5	表現	器楽	極めて基本的なピアノ演奏法			○	○					○	・ピアノの器楽表現の特徴を理解している。				
6			基本的なピアノ演奏法			○		○			○						
7			表現を工夫したピアノ演奏法			○		○			○	・曲にふさわしい奏法、身体の使用方などの技能を身につけている。					
8			創作	ピアノを活用し、自己のイメージをもって創作表現する。								○	・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。				
9	自己のイメージをもって創作し、表現を工夫してピアノで演奏する。									○	・旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身につけている。						
10		器楽	各楽器の基本的な演奏法			○	○					○	・表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身につけている。	・音楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。	主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。		
11		創作	各楽器の特性を活かし、自己のイメージをもって創作表現する。		○			○				○	・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身につけている。	・創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。	主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。		
12		器楽	表現を工夫して合奏すること に協働的に取り組む。					○	○	○			・他者との調和を意識して演奏する技能を身につけている。	・音楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。	主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。		

[illegible]